

CO₂CO₂マイレージ

日置市で7月からスタートした地域活性化奨励金制度、通称「CO₂CO₂(こつこつ)マイレージ」。生ごみをリサイクルすることでごみの焼却量を減らし、地域雇用も生み、さらには二酸化炭素を減らす、地球にも優しい取り組みです。

今回は、そんなエコな取り組みについて紹介します！



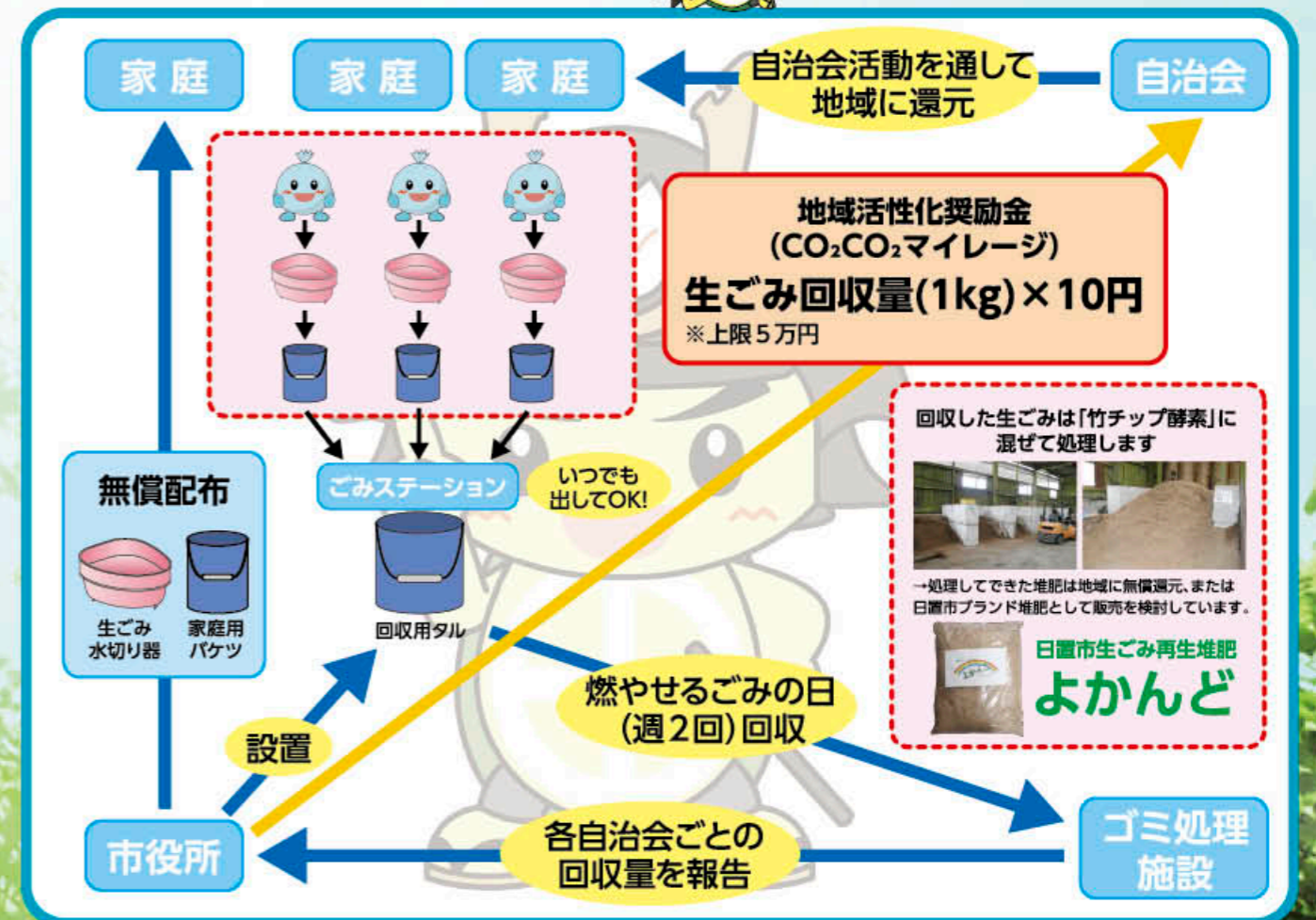
◎これまでの実績

年度	世帯数	生ゴミ回収量	CO ₂ 削減量
H24	50世帯	4,242kg	1,294kg
H25	100世帯	14,387kg	4,388kg
H26	100世帯	11,988kg	3,656kg
合計		30,617kg	9,338kg

※「CO₂削減量」は生ごみの量に0.305を乗じた目安です。

「地域活性化奨励金制度」と称するこの活動は平成24年11月からモニタリングを始め9件の自治体に協力をいただき生ごみの削減に取り組みました。今年度からは「地域活性化奨励金」として生ごみの回収量1キロに対して10円を自治会に支払います。生ごみのリサイクルを通じた地域活性化ということで、全国でも珍しい取り組みとして注目されています。

くわしく教えて、ひお吉くん!



その① ごみ処理費用をこつこつ減らす

ごみを焼却すると「焼却灰」が発生します。焼却灰にはダイオキシン類を含んでいる場合があります。この焼却灰などの処理に年間 5,000 万円ほどの予算が使われています。ごみ処理にかかる年間費用は約5億円になりますので、約1割が焼却灰などの処理に使われていることとなります。焼却ごみのうち1/4を占める生ごみを減らすことで、ごみ処理にかかる費用を減らすことにつながります。



その② 地域雇用をこつこつ増やす

この「地域活性化奨励金」は地方創生として、日置市が掲げる事業の1つです。この事業により地域雇用が増えることを見込んでいます。環境も潤い、地域経済も潤うことを目指します。



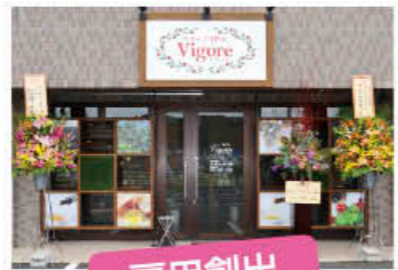
【生ごみ堆肥化】専用破砕機で生ごみを細かく粉砕し、手作業で食品以外の異物を除去します。



生ごみ堆肥化事業で取り組んだ堆肥をオリーブに



日置市オリーブ園で搾取したオリーブオイル



平成24年度に包括的業務協力協定を締結した鹿児島銀行と日置市主体の鹿児島オリーブ株式会社での雇用創出

その③ CO₂をこつこつ減らす

一般的に、生ごみ1kgを焼却することにより約300gの二酸化炭素が発生すると言われています。日置市では平成24年11月から平成26年度までの取り組みにより、現在までに約9,338kgの二酸化炭素を減らしたことになります。

〈杉の木換算〉

「東京ドーム何個分」という表現をよく耳にします。広大な面積を表現するのに使われる表現です。では二酸化炭素はどうやって表現しようか、ということで考えだされたのが「杉の木換算」です。大きく成長した杉の木は1年間で約14kgの二酸化炭素を吸収すると言われています。

※杉の木は樹齢50年で高さが20～30mのものを目安としています。

この取り組みで減らした二酸化炭素の量を杉の木換算すると、なんと約667本になります!!



この事業は5年間実施する予定です。5年後に生ごみ焼却ゼロを目指します。将来的には生ごみ以外の燃やせるごみは固形燃料にして売却するなど「収入を見込めるごみ処理」を目指したい!!紙オムツもリサイクルしたいと考えています。みなさんご協力をお願いします。



市民生活課 久木崎 主査

【お問い合わせ先】本庁市民生活課環境係 TEL 099-248-9414(直通)